## はしがき

初対面で私に投げかけられる言葉は「なぜまたシンハラ語を勉強されたのですか」という判で押したような問いである。これに応えるのは容易いことではないが、私が八歳のとき、シンハラ文字で著された一冊の書物を訪日中であったスリランカ(当時セイロン)の高僧から贈られたことに起因する。その華麗で丸味を帯びたシンハラ文字に魅了された私は、運命の悪戯としか言いようがなさそうだが、過去半世紀に亘る歳月をシンハラ語とシンハラ文学の研究に身を捧げることになった。しかしその道程は長く険しく今なお道半ばであることは否めないが、漸くここに本辞典出版の運びに至った。

シンハラ語はインド・ヨーロッパ語族のインド語派に属する言語でスリランカ民主社会主義共和国の公用語の一つである。人口は約2033万人(2012年推計)とされ、このうち約72.9パーセントを占めるシンハラ人の母語にあたる。シンハラ文字は紀元前三世紀の中葉、インドで誕生したとされるブラーフミー文字から派生し、最古の文法解説書『シダットゥ・サンガラーワ』(1270~1293) [ウェーデーハ僧作]が著された頃には、同じ系統に属する言語の文字とはおおいに異なる独特の字体に変容した。とはいえインド系文字の特徴である「子音+母音」が組み合わされる音節文字に変わりはなく、文字は左から右に向けて書かれ、大文字・小文字の区別はない。

シンハラ語の語順は倒置法などを除けば、主語ー目的語ー動詞となり、これに日本語の「てにをは」に似た助詞が加わり日本人には学びやすい言語である。また、アクセントも日本語と同様に高低アクセントで発音され、より一層親しみやすい側面を有している。ただ、シンハラ語は口語体と文章体(文語)の差異が甚だしく、これが頭痛の種である。文章体にしか用いられない語法や語彙があり、これらは学習過程において逐次体得する以外に策はない。

現代シンハラ語にはサンスクリット語、パーリ語、ポルトガル語、オランダ語、ヒンディー語、タミル語、マレー語、英語などからの借用語が数多く含まれている。この傾向に対して純粋なシンハラ語の価値を認識させ、権威があるとされる文語の統一化を図ろうと"ヘラ(シンハラ)運動"を起こした人物がいた。彼の名はムニダーサ・クマーラナトゥンガ(1887~1944)で外来語の要素をシンハラ語から排除し、自分たちのアイデンティティの拠りどころとして1941年"ヘラ・ハウラ(シンハラ語グループ)"を結成した。しかし、サンスクリット語やパーリ語を教養がある言葉として最重視してきた仏教系有識者からなる保守派の賛同は得られず、そのヘラ語が普及するには至らなかったという過去の歴史がある。

スリランカは近年グローバル化が急速に進むなか、最後の宗主国であったイギリスの影響が根

強く、公官庁や都市部を中心に英語が橋渡し言語として幅広く普及している。英語教育をさらに推進させるためインターナショナル・スクールも島内各地にできている。2009年5月四半世紀に及んだ政府軍とタミル・イーラム解放の虎(L.T.T.E.)との内戦も終結しインド洋上に浮かぶこの国に明るい未来が訪れ、年々日本人観光客の数が増加してきている。

こうした歴史的・社会的背景のもと、言葉の観点からもう一度見直すと、現地で刊行されている辞書の大半は外国人にとって使いやすく親切であるとは言い難い。そこで本辞書では動詞の活用変化、名詞の数、男女・雄雌の性別、類語、対義語(反意語及びもう少し幅広い意味を有する対立語も含む)や例文をあげ活用範囲を大幅に拡張した。しかし、見出し語の取捨選択の適否、カタカナ表記(カナ発音)のあり方、不測の過誤、誤植などに関しての不備、欠陥はすべて著者の責任であることを明らかにし、叱正を望みたい。

本辞典は、東京外国語大学アジア・アフリカ言語文化研究所における文部科学省の COE 拠点形成・特別推進研究(COE)「アジア書字コーパスに基づく文字情報学の創成 (GICAS)」(2001-2005 年度,研究代表:ペーリ・バースカララーオ氏)のプロジェクトの一つである辞書編纂研究会(主査:町田和彦氏)で作られた。出版にあたり、町田和彦教授、シンハラ語データ処理システムを構築し精確な紙面設計をしてくださった同研究所 高島淳教授を筆頭に、数々の助言をくださったスリー・ジャヤワルダナ大学 ラッナシリ・アランガラ教授、東京大学総合研究博物館 元研究員 ウダヤニ・ローサ・ウィーラシンハさん(現 オーストラリア在住)、神戸山手大学 小槻文洋准教授、駒ケ根青年海外協力隊訓練所 シンハラ語講師 シリパーラ・ウィーラコーン氏、そして細部にわたり行き届いた指摘、配慮を頂いた三省堂、辞書出版部参事 柳百合氏、シンハラ語入力にご協力頂いた有限会社 久毬の川路さつき氏、さらに長年の知己である浮岳亮仁氏、栢森公子氏、広瀬功氏など多くの関係者の方々にこの場を借りて衷心からの感謝を捧げたい。また、私事ながらこの地味な作業を長年にわたり静かに見守り励ましてくれた妻 インドラーニと娘 珠実にも心から感謝したい。

2015年3月23日

野口忠司

# この辞典の使い方

本辞典は、「シンハラ語・日本語辞典」と「日本語・シンハラ語小辞典」から成る. ここでは、「シンハラ語・日本語辞典」について、その使い方を説明する. 「日本語・シンハラ語小辞典」については、828頁を参照されたい.

#### 1. 見出し語

現代シンハラ語を中心に、約3万語を収録した.

名詞, 固有名詞, 代名詞, 動詞, 形容詞, 副詞, 接続詞, 間投詞のほかに, 後置詞, 接頭辞も見出し語とした.

同じ綴りで品詞が替わる場合は、◆の後に品詞を表示した.

とくに注意を要する見出し語は、以下のとおりである.

- 1.1 見出し語が現在時制の動詞の場合
- 1.1.1 頻度の高い動詞の現在時制を見出し語とした.
- 1.1.2 その動詞の活用変化を「動名詞形(名詞の意味も兼ね備える);過去形」の順に シンハラ文字とローマ字転写で示した.
  - ①**喜රවනවා** [puravanavā プラワナワー] පිරවීම; පිරවීවා (piravīma ; pirevvā) 満たす
  - ②次の場合の「/」は過去形の動詞が二つ、時には三つ、かつ異綴異音同義語であることを示している。

කපා දමනවා [kapā damanavā カパー ダマナワー] කපා දැමීම; කපා දැමීමා/කපා දැමීවා (kapā dämīma ; kapā dämmā / kapā dämuvā) 切断する

- 1.1.3 なお、すべての動詞見出し語に上記の活用変化を挙げてはいないが、以下のような使用頻度の高い動詞は活用変化のパターンを容易に学習できる.
  - ... කරනවා [...karanavā ... カラナワー] ... කිරීම; ... කළා …する
  - ... **ගන්නවා** [ ...gannavā ... ガンナワー] ...ගැනීම; ... ගත්තා ...取る
  - ... **@දනවා** [ ...denavā ... デナワー] ... දී®; ... දූන්නා …与える
  - ... **වෙනවා** [...venavā ... ウェナワー] ... වීම; ... වුණා …になる
- 1.2 見出し語が動名詞の場合
- 1.2.1 その動詞の「現在(未来)時制;過去時制」の順に,語形変化をシンハラ文字とローマ字転写で示した.

මගාඩ නැඟීම [goḍa näṇgīma ゴダナアンギーマ] ගොඩ නහනවා; ගොඩ නැඟුවා (goḍa naṇganavā ; goḍa näṇguvā) 組み立て

**ෙපන්නුම් කිරීම** [pennum kirīma ペンメン キリーマ] පෙන්නුම් කරනවා; පෙන්නුම්

කළා (pennum karanavā; pennum kaļā) 実証

- **1.2.2** ただし, ๑ಆಡು කිරීම [pōya kirīma ポーヤ キリーマ] [名] 《宗》 懺悔(ざんげ) に見られる කරීම [kirīma キリーマ] の場合は名詞の一部と見なされ, 活用はしない.
- 1.3 見出し語が単数名詞(sg.)の場合
- 1.3.1 頻度の高い名詞や不規則変化する名詞には、可能な限り複数形(pl.)を示した.
  - ①規則変化による複数形の例(単数形/複数形)
    - මේසය [mēsaya メーサヤ] / මේස [mesa メーサ] (pl.) 机
    - **පඩිය** [padiya パディヤ] / **පඩ** [padi パディ] (pl.) 階段
    - හාෂාව [bhāsāva バーシャーワ] / භාෂා [bhāsā バーシャー] (pl.) 言語
    - පා පුටුව [pāpuṭuva パー プトゥワ] / පා පුටු [pāpuṭu パー プトゥ] (pl.) 足台 අත [ata アタ] / අත් [at アッ] (pl.) 手
    - පොත [pota ポタ] / පොත් [pot ポッ] (pl.) 本
    - වියදම [viyadama ウィヤダマ] / වියදම [viyadam ウィヤダン] (pl.) 費用
    - පාඩම [pādama パーダマ] / පාඩම [pādam パーダム] (pl.) レッスン
  - ②不規則変化による複数形の例(単数形/複数形)
    - geban [duppatā ドゥッパター] / gebana [duppattu ドゥッパットゥ] (pl.) 貧者
    - ලපාකුණ [pokuṇa ポクナ] / ලපාකුණු [pokuṇu ポクヌ] (pl.) 池
    - @මානරා [monarā モナラー] / @මානරු [monaru モナル] (pl.) 孔雀
    - බෙල්ල [bella ベッラ] / බෙලි [beli ベリ] (pl.) 首
    - මහලු මිනිහා [mahalu minihā マハル ミニハー] / මහලු මිනිස්සු [mahalu minissu マハル ミニッス] (pl.) 老人
    - **冬**ę [liṃda リンダ] / **冬**。 [liṃ リン] (pl.) 井戸
    - oď [gē ゲー] / oの2ල් [geval ゲワル] (pl.) 家
- 1.4 見出し語が複数名詞(pl.)の場合
- 1.4.1 頻度の高い複数形名詞を見出し語とした場合がある.
- 1.4.2 見出し語の後に単数形(sg.)を示した.
  - නෑදෑ (nädäyō ナァーダァーヨー) නෑයා/ නෑදෑයා (näyā/ nädäyā ナァーヤー / ナァーグァーヤー) (sg.) 親戚
  - මල [mila ミラ] මලය (milaya ミラヤ) (sg.) 値段
  - **©©ණට** [menevi メネウィ] ©©の飯ටය (meneviya メネウィヤ) (sg.) 未婚女性
- 1.4.3 複数形が、そのまま限定用法の形容詞として、次に来る名詞を修飾する機能を もつ場合もある.
  - **異ðð®** [pūccama プーッチャマ] ฐððð® (pūccam プーッチャン) (pl.) 自慢
    → 異ððð® කථාව [pūccam kathāva プーッチャン カターワ] 自慢話

- ago [baduva バドゥワ] ag (badu バドゥ) (pl.) 品物
- →ລລູ ออิ๑๐๋ฬอ [badu vattōruva バドゥ ワットールワ] 商品目録
- **මල** [mala マラ] මල් (mal マル) (pl.) 花
- →@♂cas [mal uyana マル ウヤナ] 植物園
- 1.5 見出し語に雌雄の別がある(動物・鳥類など)の場合
- 1.5.1 雄・雌の区別を としてできるだけ明らかにした. スリランカで市販されているシンハラ語辞典では、雄のみを見出し語に挙げ、雌を表わす語を記載しない場合が多いからである.

#### (例) 雄/雌

**කොටියා** [kotiyā ᠴティヤー][名] 虎 ෙ කොටි ලදන 雌虎

**බල්ලා** [ballā バッラー][名] 犬 のっぱ色雌犬

**වලරා** [vandurā ワンドゥラー][名] 猿 ● වැදි8 雌猿

**කාක්කා** [kākkā カーッカー][名] 鳥 (からす) の **කාක** 雌鳥

**ぬかでで** [kurullā カルッラー][名] 小鳥 ® あるざる雌の小鳥

**860** [giravā ギラワー][名]《鳥》鸚鵡(おうむ) ● 868 雌の鸚鵡

**මොනරා** [monarā モナラー] [名] 孔雀 ● මොනර කිකිළ 雌の孔雀

**थಂසයා** [hamsayā ハンサヤー][名]白鳥 ♥ थ०ස ෧ධනව 雌の白鳥

#### 2. 発音

- 2.1 見出し語の後の「 ]内に、ローマ字転写とカナ発音を示した.
- 2.2 ローマ字転写とカナ発音の詳細については,「8.シンハラ語の文字と発音」を参照.

## 3. 語 義

- 3.1 よく使う訳語を「,」や「;」で区切って,複数挙げた.
- **3.2** 語義の大きな分類が必要な場合は、「**1.2.**…」と分けた場合がある.
- 3.3 訳語については, 意味の限定・補足説明には[]を, 百科的な説明等には〈〉を, 文法的な説明には《》を使用した.
- 3.4 語の言い換え・省略には()を使用した.また,難読の語には()に読みを付した.

#### 4. 用例とその訳語

- 4.1 用例には、句例と文例がある.
- **4.2** 句例の開始には、「¶」を置いた. 複数の句例は「/」で区切った.
- 4.3 文例の頭には, 「▶」の記号を付した.
- 4.4 句例は訳語の直後, 文例は句例・関連語・類語・対義語の後に置いた.

## 5. 関連語・類語・対義語

- 5.1 意味の理解と語彙の増大に資するように、用例のほかに3種の語彙を示した.
- **5.2** 見出し語に対する関連語を\*付きの太字で訳語とともに示した.これによって,関連する語彙をまとめて学習できる.
  - (例) පාසැල [pāsäla パーサァラ] පාසැල්(pl.)(pāsäl) [名]学校
    - \* පාඩම්ලපාත (pāḍam pota) 教科書 \* පාඨාගාරය (pāthāgāraya) 校舎
    - \* ඉරුවරයා; ඉරුතුමා (guruvarayā; gurutunā) 教員, 教師, 教諭〈男性〉
    - \*ඉරුව8ය;ඉරුතුම්ය (guruvariya; gurutumiya) 教諭〈女性〉
    - \*ව්දූහල්පති; පාඨශාලාධිපති (viduhalpati; pāthaśālādhipati) 校長
    - \*පංති කාමරය (pamti kāmaraya) 教室
- 5.3 見出し語に対する類語を類として示した.この場合の類語には,口語体/文章体(文語体)に用いる語,異綴同義語なども含まれる.
  - (例) බංසාව [bāsāva バーサーワ] බංසා (bāsā) (pl.)[名]言葉, 言語, …語 類 බස; භාශාව
- 5.4 見出し語に対する対義語を 

  ●として訳語とともに示した. 対義語には, 反意語のほかに雄雌・男女の対比などもう少し幅広い意味を有する対立語も含まれる.
  - (例) ๑ඛçω [khēdaya ゲーダヤ] [名] 悲哀, 悲嘆 88ω 喜び, 歓喜

**ශිෂ්‍යයයා** [śiṣyayā シッシャヤー] ශිෂ්‍යලයෝ (śiṣyayō) (pl.)[名] 学生, 生徒 ● ශිෂ්‍යාව; සිසූවිය 女学生, 女生徒

#### 6. 品詞ほか略号・記号類

[名]	名詞	[間]	間投詞	$lackbox{0}$	対義語
[代]	代名詞	〔接頭〕	接頭辞	>	文例
[形]	形容詞	(sg.)	単数形	•	品詞替え
[副]	副詞	(pl.)	複数形	例	用例コラム
〔動〕	動詞	$\P$	用例(句例)の開始	関	関連語コラム
〔後〕	後置詞	*	関連語		

類語

# 7. 専門分野略語表

接続詞

[接]

《医》	医学	《印》	印刷	《園芸	《園芸》	
《遺》	遺伝	《韻》	韻律	《演》	演劇	

類

《音》	音声学	《鉱》	鉱物	《鳥》	鳥類
《貝》	貝類	《曆》		《哲》	哲学
《海》	海事	《昆》	昆虫	《天》	天体・天文(学)
《解》	解剖(学)	《史》	(歴)史学	《電》	電気
《化》	化学	《写》	写真	《陶》	陶器
《楽》	音楽	《宗》	宗教	《統》	統計(学)
《機》	機械	《修》	修辞(学)	《動》	動物(学)
《幾》	幾何学	《商》	商業	《農》	農学
《気》	気象(学)	《食》	食物	《美》	美術
《魚》	魚類	《植》	植物(学)	《病》	病理(学)
《キリスト	教》	《神》	神学	《物》	物理(学)
《軍》	軍事	$\langle\!\langle i \rangle\!\rangle$	心理(学)	《文》	文学•文語的表現
《敬》	敬語	《数》	数学	《文法》	
《経》	経済(学)	《政》	政治	《法》	法律
《芸》	芸術	《生》	生物(学)	《簿》	簿記
《外科》		《生化》	生化学	《無》	無線
《建》	建築	《生理》	生理(学)	《木工》	
《言》	言語(学)	《占》	占星術	《冶》	冶金
《光》	光学	《測》	測量	《薬》	薬学•薬物
《航》	航空	《地》	地学•地質•地理	《論》	論理学

#### 8. シンハラ語の文字と発音

#### 8.1 分かち書き(綴りの切れ目)

シンハラ語の綴りの切れ目は、必ずしも一つに定まっているわけではなく、様々な綴字法のいずれもが使用されている.以下は、その例である.

```
තව⊚ [tavama タワマ] = තව ⊚ [tava ma タワ マ] 未だに
```

එකම [ekama エカマ] = එක ම [eka ma エカ マ] 唯一の

◎ ® [mamama マママ] = ® ® [mama ma ママ マ] わたし自身

මෙවැනි [meväni メワァニ] = මෙ වැනි [me väni メ ワァニ] このような

නොමසුරුව [nomasuruva /マスルワ] = නොමසුරු ව [nomasuru va /マスル ワ] 気前よく

あらっとう [nirāhārava ニラーハーラワ] = あらっとう [nirāhāra va ニラーハーラ ワ] 飢えて

කාවදිනවා  $[k\bar{a}$  vadinav $\bar{a}$  カーワディナワー]= කාවදිනවා  $[k\bar{a}$  vadinav $\bar{a}$  カー ワディナワー] 心にじんとくる

- 8.2 綴り字で注意するべきもの
- 8.2.1 口語体と文章体(文語体)における異綴同義語

(例)口語体/文章体

හටන [haṭana ハタナ] / භටන [saṭana サタナ] 戦い
හානවා [hānavā ハーナワー] / භානවා [sānavā サーナワー] 耕す
හිතනවා [hitanavā ヒタナワー] / 最あනවා [sitanavā シタナワー] 思う
හීරෙනවා [hīrenavā ヒーレナワー] / සිරෙනවා [sīrenavā シーレナワー] 零れる
හුරතල් කරනවා [huratal karanavā フラタル カラナワー] / සුරතල් කරනවා [suratal karanavā スラタル カラナワー] 甘やかす
හෙමින් [hemin ヘミン] / සෙමින් [semin セミン] ゆつくりと

හෙමින්  $[hemin \sim >>]$  / සෙමින්  $[semin \ t >>]$  ゆっくりと හොයනවා  $[hoyanava \ \pi + + + \neg -]$  / සොයනවා  $[soyanava \ y + + \neg -]$  捜す හෝදනවා  $[h\bar{o}danava \ \pi - \# + \neg -]$  / සෝදනවා  $[s\bar{o}danava \ y - \# + \neg -]$  洗う

- 8.2.2 **5** [na +] と**6** [ṇa +] および**6** [la ラ] と**6** [la ラ] と**6** [la ラ] と**6** [na +] および**7** [na +] および**8** [na +] および**8** [na +] と**6** [na +] および**8** [na +] と**6** [na +] と
  - ・同音異綴異義語(語義に差異が生じる)の場合

(例) あと��

නුවන [nuvana メワナ] 目/නුවණ [nuvaṇa メワナ] 知恵

පහන [pahana パハナ] ランプ/ පහණ [pahaṇa パハナ] 岩

වනය [vanaya ワナヤ] ジャングル/ වණය [vaṇaya ワナヤ] 傷

(例) でとど

çe [dala ダラ] 芽/çe [dala ダラ] 歯, 牙

නල [nala ナラ] (微)風/ නළ [nala ナラ] パイプ

වල [vala ワラ] 森/ වළ [vala ワラ] 穴

・同音異綴同義語(語義に差異が生じない)の場合

කණ්ණාඩිය [kaṇṇāḍiya カンナーディヤ] = කන්නාඩිය [kannāḍiya カンナーディヤ] 鏡

ළමයා [lamayā ヺマヤー] = ලමයා [lamayā ヺマヤー] 子供 සමනළයා [samanalayā サマナラヤー] = සමනලයා [samanalayā サマナラヤー] 蝶

# 8.3 シンハラ文字とローマ字転写,カナ発音

# ■母音字とその発音

母音字/ローマ字転写/カナ発音/発音器官による分類/英語音

අ	[a]	ア	軟口蓋音(喉音)	$/\Lambda, 9/$
අා	$[\bar{a}]$	アー	軟口蓋音(喉音)	/a:/
ඇ	[ä]	ア	軟口蓋音(喉音)	/æ/
ඇ	$[\bar{\mathbf{a}}]$	アー	軟口蓋音(喉音)	/æ:/
ඉ	[i]	1	硬口蓋音(口蓋音)	/i/
ඊ	$[\overline{1}]$	イー	硬口蓋音(口蓋音)	/i:/
Ĉ	[u]	ウ	唇音	/u/
ඌ	$[\bar{\mathrm{u}}]$	ウー	唇音	/u:/
ඎ	[ŗ]	リ/イル	反転音(巻舌音)	
ඎ	$[ar{ar{r}}]$	イルー	反転音(巻舌音)	
එ	[e]	工	喉音+口蓋音	/e/
ల్	[ē]	エー	喉音+口蓋音	/e:/
<u>ෙ</u> එ	[ai]	アイ	喉音十口蓋音	/ai/
@	[o]	才	喉音+唇音	/ɔ/
ඕ	$[\bar{o}]$	オー	喉音+唇音	/ɔː/
ඖ	[au]	アウ	喉音+唇音	/au/

# ■母音字を含む具体例

母音字/カナ発音/語彙と発音/意味

අ	ア	අකුර [akura アクラ]	文字
ආ	アー	ආණ්ඩුව [āṇḍuva アーンドゥワ]	政府
ඇ	ア	ඇතා [ätā アター]	牙のある象
ඇ	アー	ඈතුම [ā̈numa アーヌマ]	あくび
ඉ	1	စ္စုၓိဗ္ [iridā イリダー]	日曜日
ඊ	イー	ඊය [īya イーヤ]	矢
Ĉ	ウ	උත්සාහය [utsāhaya ウッサーハヤ]	努力
Çə	ウー	ඌරා [ūrā ゥーラー]	雄豚
ඎ	リ/イル	සෘතුව [ṛtuva イルトゥワ]	季節
සaa	イルー		
එ	工	එළවළු [eļavaļu エラワル]	野菜
එ	エー	ඒකාධිපතියා [ēkādhipatiyā エーカーディパティヤー]	独裁者
<b>ෙ</b> එ	アイ	ඓතිහාසික [aitihāsika アイティハーシカ]	歴史的な
ඔ	オ	ඔර්ලල්සුව [orlōsuva オルロースワ]	時計

 ®
 オー
 ®
 でする
 できる
 できる<

# ■子音字とその発音

子音(母体字)/ローマ字転写/カナ表記/発音器官による分類/発音方法による分類

分類			
ක [ka]	カ	軟口蓋音(喉音)	無声破裂音
බ [kha]	力	軟口蓋音(喉音)	無声帯気音
တ [ga]	ガ	軟口蓋音(喉音)	有声破裂音
ස [gha]	ガ	軟口蓋音(喉音)	有声带気音
ඩ [ṅa]	ナ	軟口蓋音(喉音)	有声鼻音
ච [ca]	チャ	硬口蓋音(口蓋音)	無声破擦音
ජ [cha]	チャ	硬口蓋音(口蓋音)	無声帯気音
ජ [ja]	ジャ	硬口蓋音(口蓋音)	有声破擦音
ඣ [jha]	ジャ	硬口蓋音(口蓋音)	有声带気音
ඤ [ña]	ニャ	硬口蓋音(口蓋音)	有声鼻音
ට [ṭa]	タ	反転音(巻舌音)	無声歯茎破裂音
ඨ [ṭha]	タ	反転音(巻舌音)	無声帯気音
ඩ [ḍa]	ダ	反転音(巻舌音)	有声歯茎破裂音
ඪ [ḍha]	ダ	反転音(巻舌音)	有声带気音
🏍 [ṇa]	ナ	反転音(巻舌音)	有声鼻音
ත [ta]	タ	歯音	無声摩擦音
ථ [tha]	タ	歯音	無声帯気音
<b>ද</b> [da]	ダ	歯音	有声歯茎破裂音
ධ [dha]	ダ	歯音	有声带気音
න [na]	ナ	歯音	有声鼻音
ප [pa]	パ	唇音	無声破裂音
ඵ [pha]	パ	唇音	無声帯気音
බ [ba]	バ	唇音	有声破裂音
හ [bha]	バ	唇音	有声带気音
⊚ [ma]	7	唇音	有声鼻音
ය [ya]	ヤ	硬口蓋音	有声音(半母音)
o[ra]	ラ	反転歯茎音	有声带気音(半母音)
c [la]	ラ	側音(歯茎)	有声音(半母音)
ව [va]	ワ	唇歯摩擦音	有声带気音(半母音)
ශ [śa]	シャ	硬口蓋歯擦音	無声音

ෂ [ṣa]	シャ	反転歯擦音	無声帯気音	<u>도</u> 크
ස [sa]	サ	歯茎摩擦音	無声音	
හ [ha]	ハ	軟口蓋音(声門摩擦音)	無声音	
€ [la]	ラ	側音(反転音)	有声音(半	母音)
თ [fa]	ファ	唇歯摩擦音	無声音	
子音-鼻音				
හ [nga]	ンガ		ę [nda]	ンダ
æ [jña]	グニャ	・/ンニャ/ニャ	ඤ [ña]	ニャ
ඩ [nda]	ンダ		® [ṁba]	ンバ

注)子音字(母体字)は、単独では母音 a を含む音節文字である(たとえば、日本語のカ[ka]のように). ただし、母音記号が付くとa の音が落ちて子音のみを表し([k])、母音記号の表す母音と結びついて、キ[ki]、ク[ku]、ケ[ke]、コ[ko]のような音節文字になる. 母音記号の詳細については、別途文法書等を参照されたい.

## ■子音字を含む具体例

子音字/カナ発音/語彙と発音/意味

ක	力	කඩදාසිය [kaḍadāsiya カダダーシャ]	紙
බ	カ	ඛණ්ඩාංකය [khaṇḍāṃkaya カンダーンカヤ]	座標
ග	ガ	ගම්මානය [gammānaya ガンマーナヤ]	村落
ස	ガ	සණ්ටාරය [ghaṇṭāraya ガンターラヤ]	鐘
ඞ	ナ	වඩික [vaṅka ワンカ]	湾曲した
ච	チャ	චරිතය [caritaya チャリタヤ]	性格
ඡ	チャ	ජන්දය [chandaya チャンダヤ]	投票
ජ	ジャ	ජපානය [japānaya ジャパーナヤ]	日本
ඣ	ジャ	සජ්ඣායනය [sajjhāyanaya サッジャーヤナヤ]	暗唱
කද	ニヤ	ඤාතියා [ñātiyā =ャーティヤー]	親戚
0	タ	ටයරය [ṭayaraya タヤラヤ]	タイヤ
ඨ	タ	ඨාතාන්තරය [ṭhānāntaraya ターナーンタラヤ]	身分
ඩ	ダ	ඩබරය [ḍabaraya ダバラヤ]	喧嘩
ඪ	ダ	මූඪයා [mūḍhayā ᠘—ダヤ—]	愚か者
<b>©</b>	ナ	ණය [ṇaya ナヤ]	借金
ත	タ	තර්ජනය [tarjanaya タルジャナヤ]	脅迫
೦	タ	කථකයා [kathakayā カタカヤー]	ナレーター
ę	ダ	දළදාව [daļadāva ダラダーワ]	仏歯
۵	ダ	ධනපතියා [dhanapatiyā ダナパティヤー]	資本家
න	ナ	නවකථාව [navakathāva ナワカターワ]	小説
ප	パ	පරම්පරාව [paramparāva パランパラーワ]	世代

ප	パ	ඵලදාව [phaladāva パラダーワ]	収穫(物)
බ	バ	බංකුව [baṃkuva バンクワ]	ベンチ
භ	バ	භටයා [bhaṭayā バタヤー]	兵士
ම	7	මහජනතාව [mahajanatāva マハジャナターワ]	民衆
ය	ヤ	යතුර [yatura ヤトゥラ]	鍵
Q	ラ	රක්ෂණය [rakṣaṇaya ラクシャナヤ]	保険
C	ラ	ତ୍କ୍ରେଥ [laṇuva ୨୪୮]	ロープ
ව	ワ	වගකීම [vagakīma ワガキーマ]	義務
ශ	シャ	ශබ්ද ෙකා්ෂය [śabdakōṣaya シャブダコーシャヤ]	辞書
ෂ	シャ	ෂඩ්ගුණය [ṣaḍguṇaya シャドゥグナヤ]	6倍
ස	サ	සදාචාරය [sadācāraya サダーチャーラヤ]	道徳
හ	ハ	හදවත [hadavata ハダワタ]	心
E	ラ	ළමයා [ḷamayā ラマヤー]	子供
တ	ファ	ගයිල් [fayil ファイル]	書類差し

### ■子音―鼻音を含む具体例

හ [nga ンガ]	ගහ [gaṇga ガンガ]	川,河
æ [jña =+]	ඥානය [jñānaya =ャーナャ]	知性,知恵
ඬ [nḍa ンダ]	හඬ [haṇḍa ハンダ]	音,声
ę [nda ンダ]	හඳ [haṇda ハンダ]	お月さま
ඤ්ඤ [ñña ソニャ]	පිපිඤ්ඤ [pipiñña ピピンニャ]	胡瓜
® [mba ンバ]	අඹ ගෙඩිය [aṁba geḍiya アンバ ゲディャ]	マンゴーの実
<b>霄。</b> [aṃ アン]	අංශකය [aṃśakaya アンシャカヤ]	度(℃)
අඃ [aḥ アッ]	D: [caḥ fty]	残念だ

## ■発音表記について

この辞典では、見出し語に対して、インド語学で通常用いられるローマ字転写とカナ発音を示した。国際音標文字(IPA)は、シンハラ語のすべての音声には対応しきれないので使用しなかった。また、外国語の音をカタカナで表記するのは、あくまでも便宜的で完璧を期すことは不可能である。カナ発音では、日本語で発音しにくい表記は極力避けた。鼻音の区別は「ン」と「ン」で示した。異なった音について同じカナ発音が充てられる場合が多々あるが、その相違については、「8.3 シンハラ文字とローマ字転写、カナ発音」のローマ字転写、発音器官や発音方法による分類を参照。

以下,発音表記について注意する点を挙げる.

①以下の r, jñā (jña), kar, am のように, ローマ字転写が同じでもカナ発音

が異なる場合がある.

おard の包දは [ṛg vēdaya リッグ ウェーダヤ] 《宗》 リグ・ヴェーダ
 はapp [śarat rtuva シャラッ イルトゥワ] 秋

**そっつ** [jñāna ニャーナ] (= द्ध्र [ñāṇa ニャーナ]) 知恵 විදාහාඥයා [vidyājñayā ウィッディャーグニャヤー] (グは弱く発音) 科学者

කර්තa [kartṛ カットゥル] 著者 කර්මාන්තය [karmāntaya カルマーンタヤ] 産業, 工業

අම්මා [ammā アンマー] 母 ලේකම් [lēkam レーカム] 書記

- ②「隠れた促音(ッ)」はローマ字転写では表記されず、カナ発音で表記される.
  - อิอุวราช [vidyāva ウィッディャーワ] 科学 ×ウィディャーワ
  - අධානපනය [adhyāpanaya アッディャーパナヤ] 教育 ×アディャーパナヤ

  - වකය [cakraya チャックラヤ] 輪, 円 ×チャクラヤ
  - මනුෂායා [manusyayāマヌッシャヤー] 男(性) ×マヌシャヤー
- ③ローマ字転写は異なるが、カナ発音では同一になる場合がある.
  - ② [ta], ඨ [tha], ఐ [ta], ጏ [tha] すべて「タ」
  - む [da], ඪ [dha], ţ [da], ω [dha] すべて「ダ」
- ④類似する文字と発音の例

  - බ [kha カ] බ [ba バ]
  - **ల్** [cha チャ] **ల్** [ja ジャ]
  - ඩ [da ヺ] ධ [dha ヺ]

  - **ව** [va  $\neg$ ] **ව** [ca  $\not$   $\neg$   $\neg$ ]
  - ප [pa パ] ෂ [ṣa シャ]
  - c [la =] e [la =]

  - ක [ka ヵ] ත [ta ォ] ත [na ナ]

  - の [ga ガ] の [śa シャ] め [ha ハ] め [bha バ]

#### ■アクセントについて

シンハラ語には英語などに見られるストレスアクセント(強さアクセント)はなく、日本語と同様ピッチアクセント(高さアクセント)がある。本辞典では、アクセントをいちいち示していないが、以下に例を示す。

**කනවು** [kanavā カナワー] [動] (食べる)の場合

カナワーと平坦に発音する. 決して, **カ**ナワーやカ**ナ**ワーとは発音しない(太字を高く発音).

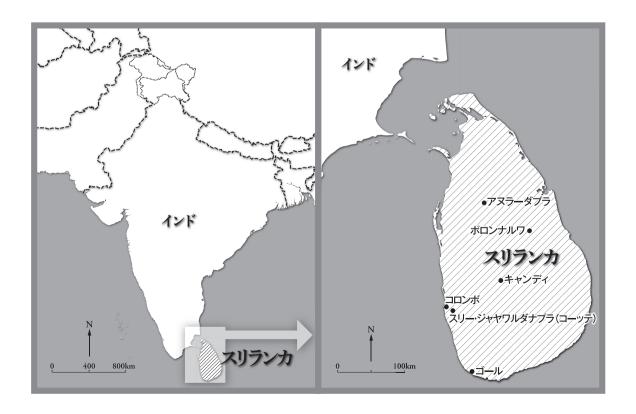
その命令形の場合

**කන්න** [kanna カンナ] を平坦に発音すると「お食べ下さい」「お召し上がり下さい」と丁寧な命令表現になり、アクセントを語頭の ☎ [ka ヵ] に置いてカンナと発音すると「食べなさい」「食べろ」という強い命令表現になる.

## ■主要参考文献〈書名·発行年·(共)著者名·発行所〉

- 1. A Sinhalese-English Dictionary (1965), Charles Carter (M.D. Gunasena & Co.Ltd., Colombo)
- 2. Practical Sinhala Dictionary Vol. 1 (1982), Harischandra Wijayatunga (Ministry of Cultural Affairs, Colombo)
- 3. Practical Sinhala Dictionary Vol. 2 (1984), Harischandra Wijayatunga (Ministry of Cultural Affairs, Colombo)
- 4. 『シンハラ語辞典』(1992)野口忠司(大学書林,東京)
- 5. English-Sinhara Dictionary (1997), Somapala Jayawardhana (S.Godage & Brothers, Colombo)
- 6.『日本語-シンハラ語辞典』(1998)野口忠司(大学書林, 東京)
- 7. සිංහල-ඉංගීසි ශබ්දකෝෂය (2003), සෝමපාල ජයවර්ධන (ඇස්. ගොඩගේ සහ සහෝදරයෝ, කොළඹ)
- 8. සංහිද ඉංගිරිසි-සිංහල මහා ශබ්දකෝෂය පළමු වළුම (2009), සුවරිත ගම්ලත් (සංහිද මුදුණ හා පුකාශන, පෞද්ගලික සමාගම, නුගේගොඩ)
- 9. සංහිද ඉංගිරිසි-සිංහල මහා ශබ්දකෝෂය-දෙවැනි වෙළුම (2009), සුචරිත ගම්ලත් (සංහිද, මුදුණ හා පුකාශන, පෞද්ගලික සමාගම, නුගේගොඩ)
- 10. ඉංගිරිසි සිංහල සමානාර්ථ කෝෂය (2009), නීල් කුිස්ටෝපර් (ඇස්. ගොඩගේ සහ සහෝදරයෝ, කොළඹ)
- 11. ගොඩගේ ඉංගිරිසි-සිංහල ශබ්ද කෝෂය (2010), මුනිදාස සෙනරත් යාපා (ඇස්. ගොඩගේ සහ සහෝදරයෝ, කොළඹ)
- 12. Sarasavi English-Sinhala Dictionary (2010), Abhaya Hewawasam Chandra Anagirathna (Sarasavi Publishers, Nugegoda)
- 13. Sinhalese-English Dictionary (2011), R.Woodward Bernard de Zoysa

- (S.Godage & Brothers, Colombo)
- 14. Akura Sinhalese-English Dictionary (2011), L.P.Kularatna (Akura Book Publishers, Negombo)
- 15. Sinhala-English Dictionary (2011), S.M.C.Rajapakse (Wisdom Publishing House, Kurunegala)
- 16. සිංහල-ඉංගීසි ශබ්දකෝෂය (2012), නදී ගමගේ (ඇස්. ගොඩගේ සහ සහෝදරයෝ, කොළඹ)
- 17. සරසවි සිංහල-සිංහල ශබ්දකෝෂය (2013), පී. හෙට්ටිහේවා, පරිසි ජයමාන්න (සරසවි පූකාශන, නුගේගොඩ)
- 18. Malalasekera English-Sinhala Dictionary (2013), G.P.Malalasekera (M.D.Gunasena & Co.Ltd., Colombo)
- 19. Sinhala-English Dictionary (2014), Buddhadasa Hewage (Piyumi Printers & Publishers, Piliyandala)



# ■シンハラ文字配列順序(右の数字は掲載頁)

1.	æ	[a 7]	3	29. 0	[ṭa タ]	··· 248
2.	ආ	[ā ァー]	61	30. చ	[ṭha ຯ]	··· 250
3.	ŧ٦	[ä ァ]	·········· 75	31. ඩ	[ḍa ヺ]	··· 250
4.	ඇ	[ä アー]	······85	32. టి	[ḍha ʧ]	··· 252
5.	ඉ	[i ィ]	······85	33. ss	[ṇa +]	··· 252
6.	ඊ	[1 /-]	96	34. ඬ	[nḍa ンダ]	··· 253
7.	Ĉ	[u ウ]	97	35. ත	[ta ]	··· 253
8.	ලෳ	[ū ウー]	····· 114	36. එ	[tha ]	··· 281
9.	ඍ	[ŗ リ/イル]	····· 115	37. ę	[da ヺ]	··· 281
10.	සaa	[ Ţ イルー]	····· 116	38. ධ	[dha ヺ]	··· 315
11.	లీ	[e エ]	····· 116	39. න	[na +]	319
12.	ಲ್	[ē x-]	····· 125	40. ę	[nda ンダ]	··· 360
13.	<b>ෙ</b> එ	[ai アイ]	····· 128	41. ප	[pa パ]	··· 360
14.	@	[0 才]	····· 129	42. లి	[pha パ]	··· 457
15.	١	[ō オー]	····· 133	43. බ	[ba バ]	··· 458
16.	ඖ	[au アゥ]······	····· 135	44. භ	[bha バ]	··· 490
17.	ක	[ka カ]	····· 135	45. ⊚	[ma \rightarrow]	··· 497
18.	බ	[kha カ]	····· 198	46. ඔ	[mba >>ヾ]	··· 552
19.	ග	[ga ガ]	····· 199	47. ය	[ya +]	··· 552
20.	ස	[gha ガ]	····· 226	48. o	[ra ラ]	··· 564
21.	ඩ	[na +]	····· 228	49. e	[la ラ]	··· 590
22.	හ	[nga ンガ] ···································	····· 228	50. ව	[va ]	··· 604
23.	ච	[ca ++]	····· 228	51. ശ	[śa シャ]	··· 679
24.	ඡ	[cha ++]	····· 234	52. త	[ṣa シャ]	··· 692
25.	ජ	[ja ジャ]	····· 236	53. జ	[sa +]	··· 693
26.	ඣ	[jha ジャ]	····· 247	54. හ	[ha />]	··· 791
27.	ඤ	[ña =+]	····· 247	55. €	[la =]	··· 821
28.	ඥ	[jña =+]	····· 247	56. თ	[fa ファ]	···· 823

අ

**¢** [a ア] シンハラ語アルファベットの第 1 字〈文字 の呼称は&-ぬ対幻 (a-yanna)〉

**(4-** [a- ア] [接頭] 《反意を表す》 不…, 無…, 非… ¶ 中知の(必知 (akāruṇika) 不親切 / 中知(回知 (akāmati) 嫌な / 中知(回知 (akāmati) 時ならぬ / 中の(四面 (akāmati) 有害な / 中知(四面 (akāmati)) 不使用の / 中回(四面 (akāmati)) 不使用の / 中回(四面 (akāmati)) 非人間的

**尊**。[aṃ アン] 尊� (aṇga) (sg.)(名)角(つの)〈牛・鹿など動物の〉

**අංක ගණිතය** [aṃka gaṇitaya アンカ ガニタヤ]**(名)** 算数,算術

**砕∘කනය** [aṃkanaya アンカナヤ](名)数えること、計 算

**අංකය** [aṃkaya アンカヤ] අංක (aṃka) (pl.)(名)番号 ¶ අං. 10 (අංක දහය) (aṃ. 10 (aṃka dahaya)) 番号 10 / වාහනවල අංක තහඩුව (vāhanavala aṃka tahaḍuva) 自動車の車番 (ナンバー・プレート) \*@නාම්මරය (nommaraya) 番号

**අංක මෙයාදනවා** [aṃka yodanavā アンカ ヨダナワー] අංක මෙයදීම; අංක මෙයදුවා (aṃka yedīma; aṃka yeduvā)(動)番号をつける

**අංකරය** [aṃkaraya アンカラヤ] අංකර (aṃkara) (pl.) 【名】錨(いかり) 類勿70のරම් (näṃguram)

**අංක විදාහාව** [aṃka vidyāva アンカ ウィッディャーワ]**(名**)算数, 算術 鬩(ආ) ක ගණිතය (aṃka gaṇitaya)

**අංකුටයා** [aṃkuṭayā アンクタヤー]**(名)** 《魚》鯰(なまず) 願අංකුට්ටා (aṃkuṭṭā)

අංකුර බද්ධ කරනවා [aṃkura baddha karanavā アンクラ バッダ カラナワー] අංකුර බද්ධ කිරීම; අංකුර බද්ධ කලා (aṃkura baddha kirīma; aṃkura baddha kaļā)[動)[若枝を]差し込む,継ぎ木する

**砕∘寂෮ බද්ධය** [aṃkura baddhaya アンクラ バッダ ヤ]**(名)**芽継ぎ(すること)

**¢° 淘&** (aṃkusaya アンクサヤ] (名) [象など調教する時に用いる] 突き棒, [先端に金具が付いている] 刺し棒 (類¢° 氣ぬぬ; な氣ぬぬ; なぬぬぬ (aṃkuśaya; akussa; hakussa)

**奪・の公** [aṃgaya アンガヤ] **φ**・の (aṃga) (pl.) [名] [組織 体の]…部分,…部,…器官, 構成要素

**す。のරකරණය** [aṃgarakaraṇaya アンガラカラナヤ] (名)《化》炭化

**な。の රචනය** [aṃga racanaya アンガ ラチャナヤ](名) 化粧, 扮装(ふんそう)

**砕・⑤ Óɔ⑥ઃ⑤** [aṃga rāgaya アンガ ラーガヤ](名)化粧品〈一般〉,香水

**අංග ලක්ෂණ** [aṃga lakṣaṇa アンガ ラクシャナ](名) 顔立ち,容貌 類இහුණුවර (muhuṇuvara)

**¢**•の **り**කල [aṃga vikala アンガ ウィカラ](形)体の 不自由な、身体障害のある

**砕•の වකෘතිය** [aṃga vikṛtiya アンガ ウィクルティヤ] (名) 体の不自由なこと,身体障害

**අංග සම්බාහනය** [aṃga sambāhanaya アンガ サンバーハナヤ](名)マッサージ, もみ治療 類 සම්බාහ-නය (sambāhanaya)

**律・の 鉛つ色35台** [aṃga sāmyaya アンガ サーミャヤ]**(名)** 《数》[整数・図形の]合同

**අංගාර** [aṃgāra アンガーラ] අංගාරය (aṃgāraya) (sg.) (名)炭, 木炭 類 අතුරු; ගිනි අතුරු (aṇguru; gini aṇguru)

**す。のうかかん (aṃgārakaraṇaya** アンガーラカラナヤ](名)炭化,石炭乾留

**��の30 知30 ල** [aṃgārikāmla アンガーリカームラ] **(名**)二酸化炭素,炭酸ガス

**අ・あり負む** [aṃ taṭṭuva アン タットゥワ] අ・あり負 (aṃ taṭṭu) (pl.)(名)[鹿などの]枝角(えだつの)

**අංශකය** [aṃśakaya アンシャカヤ] අංශක (aṃśaka) (pl.)(名)[温度計などの]度(数) ¶අංශක විස්සයි (aṃśaka vissayi) 摂氏 20°C ➤ උණ සෙන්ට්ලෝඩ අංශක 38යි දශම 3ට තියෙනවා. (uṇa senṭigrēḍ aṃśaka 38yi daśama 3ṭa tiyenavā.) 熱が 38.3°C あります

**අංශභාගය** [aṃśabhāgaya アンシャバーガヤ]**(名)** (半身) 不随 類 අංශබාගය (aṃśabāgaya)

අංශය [aṃśaya アンシャヤ] අංශ (aṃśa) (pl.) (名) 区画, 区分;[企画課・人事課などの]…課;…局, 支部 ¶ ස්වර්ණාහරණ විකුණන අංශය (svarṇābharaṇa vikuṇana aṃśaya) 宝石売り場 類හාගය; ඉකාට්ඨාසය (bhāgaya; kotthāsaya)

あ

アーモンド රට කොට්ටම් raṭa koṭṭam ラタ コッタン あいかわらず 〖相変わらず〗 のじかない むのぱ venadā vagē ウェナダー ワゲー, 舞雪がま ප8ද supurudu paridi スプルドゥ パリディ

**あいきょうのある** 『愛嬌のある』 gぬゔ゚゚の prasanna プラサンナ, සිත් ඇදගත්තා සුලු sit ädagannā sulu シ ッ アダガンナー スル

**あいこくしん** 『愛国心』 © ද්ශ © පුම ය dēśaprēmaya デーシャプレーマヤ: ජාතිකාහිමානය jātikābhimānaya ジャーティカービマーナヤ

あいさつ 『挨拶』 みららる ācāraya アーチャーラヤ, みらずあめる āmantraṇaya アーマントラナヤ

**一する** ආචාර කරනවා ācāra karanavā アーチャーラ カラナワー

**あいじょう** 【愛情】 ආදරය ādaraya アーダラヤ, ぱのがめる snēhaya スネーハヤ, の営のの prēmaya プレ ーマヤ

**あいず** 『合図』 ඉහිය ingiya インギヤ, සංඥාව saṃ-jñāva サンニャーワ

アイスクリーム අයිස්තීම ayiskrīm アイスクリーム あいする 『愛する』 ආදරය කරනවා ādaraya karanavā アーダラヤ カラナワー, ආලය කරනවා ālaya karanavā アーラヤ カラナワー

**あいそのよい** 『愛想のよい』 හය උපදවත priya upadavana プリヤ ウパダワナ, හය ලී priyaśili プリャシーリー

**あいて** [相手] (敵) හතුරා haturā ハトゥラー, වරු-ද්ධ කාරයා viruddha kārayā ウィルッダ カーラヤー

アイディア අදහස adahasa アダハサ, ®තය mataya マタヤ, සංකල්පය saṃkalpaya サンカルパヤ

アイティー 〖IT〗 の知め知め、知知と感は toraturu tākṣaṇaya トラトゥル タークシャナヤ

あいている 『開いている』 อิอลซ vivṛta ウィウルタ あいている 『空いている』 (自由だ) තිදහස් nidahas ニダハス

**あいま** [合間] වෙන කාලය vivēka kālaya ウィウェーカ カーラヤ

**あいまいな** 『曖昧な』 අපැහැදිලි apähädili アパァハァディリ, ලදබඩ ඉත්රැම් ඇති debiḍi tērum äti デビディ テールム アティ

アイロン ඉස්තිරික්කය istirikkaya イスティリッカヤあう 〖会う〗 හමු වෙනවා hamu venavā ハム ウェナワー, හම්බවෙනවා hambavenavā ハンバウェナワー (約束して) මුණ ගැහෙනවා muṇa gähenavā ムナ ギャヘナワー

あう [合う] (一致する) ගැළ පෙනවා gäļapenavā ギャラペナワー, සමාන වෙනවා samāna venavā サマーナ ウェナワー (正確) හරිගස්සනවා harigassanavā ハリガッサナワー, නිදොස් කරනවා nidos karanavā ニドス カラナワー

**あお**『青』 あぱ පාට nil pāṭa ニル パータ, あල nila ニラ

あおい 〖青い〗 නල් nil ニル (පැහැති pähäti パァハァティ) (顔色などが) 異素®で sudumäli スドゥマァリあおぐ 〖扇ぐ〗 පවත් ගහනවා pavan gahanavā パワン ガハナワー, පවත් සලනවා pavan salanavā パワン サラナワー

**あおじろい** 『青白い』 舞舎の Sudumäli スドゥマァリ あか 『赤』 රතු පාට ratu pāṭa ラトゥ パータ, රත rata ラタ

**あかい** 『赤い』 ơạ ratu ラトゥ (とって) pähäti パァ ハアティ)

**あかくなる** 〖赤くなる〗 රතු @වතවා ratu venavā ラ トゥ ウェナワー

**あかじ** 『赤字』 හිහ ගණන hinga gaṇana ヒンガ ガナナ, පっඩුව pāduva パードゥワ

**あかちゃん** 〖赤ちゃん〗 බබා babā ババー, කිරි දරුවා kiri daruvā キリ ダルワー

あかり 『明かり』 එළිය eliya エリヤ, ආලල්කය ālōkaya アーローカヤ

あがる 『上がる』 (上の方へ行く) නහිනවා naginavā ナギナワー, ඉහළ යනවා ihaļa yanavā イハラ ヤナワー (増加する) වැඩි වෙනවා väḍi venavā ワァディウェナワー (興奮する・緊張する) කලබල වෙනවා kalabala venavā カラバラ ウェナワー, ඇවිස්සෙනවා ävissenavā アウィッセナワー

**あかるい** [明るい] එළය ඇති eliya äti エリヤ アティ, දීප්තිමත් dīptimat ディープティマッ (性格が) පුසන්න prasanna ブラサンナ, පුය priya ブリヤ

あき〖秋〗 සරත් කාලය sarat kālaya サラッ カーラヤ, සරත් සෘතුව sarat ṛtuva サラッ イルトゥワ

**あきびん**〖空き瓶〗 හිස් ⊚බෝතලය his bōtalaya ヒス ボータラヤ

**あきらかな** 『明らかな』 පැහැදිල pähädili パァハ ァディリ, පුකට prakaṭa ブラカタ, තිරවූල් niravul ニ ラウル

あきらかに 『明らかに』 පැහැදිලිව ® pähädiliva ma パァハァディリワ マ、 gකටව ® prakaṭava ma プラ カタワ マ、 නිසැකව ® nisäkava ma ニサァカワ マ あきらめる 『諦める』 අත්හැර ද®තවා at-hära dama-

navā アッハァラ ダマナワー, අත් අරිනවා at arinavā